

## 長崎県指定有形文化財【観世音菩薩座像】の 早期返還を求める決議

2012年10月、長崎県対馬市豊玉町小綱の観音寺で盗難された長崎県指定有形文化財「観世音菩薩座像」は昨年2023年10月26日、最高裁(大法院)において浮石寺の上告を棄却する最終判断に至った。その間約10年間という長い年月を要した、大法院判決により、観音寺の所有権が公的に認められ、対馬市民は速やかなる返還がなされていると思っていた。しかし約1年を経過しようとする今日においても、実現を見ることが出来ない。

本市議会は、日本政府関係者に対し要望書など数回に渡り仏像の早期返還をお願いしてきた。国境離島対馬市と韓国は約49.5Kmの隣国にあり古来、朝鮮王国時代より交流を深めてきた。近年は、対馬市への韓国人観光客は3年前の41万人に迫ろうとしている。

民間人の交流は、日韓友好の基本と言える。

よって、本市議会は対馬市民の財産であり、市民の心の拠り所とする仏像の早期返還を韓国政府関係者に強く求めることを決議する。

令和6年9月26日

長崎県対馬市議会

駐日本国大韓民国大使 様  
在福岡大韓民国総領事 様